

# WEL・NET

# 通信

2019.5

発行日 令和元年 5月 31日  
 発行 西広島リハビリテーション病院  
 事務局  
 ☎ 082-921-3230 (代表)  
 URL <http://www.welnet.jp/>  
 E-mail [wel@welnet.jp](mailto:wel@welnet.jp)

- 特集1 退院患者統計一覧
- 特集2 西リハスタッフの資格・研修特集
- 地域リハビリ研修会・地域のイベント・研修会情報 など

WELNET 通信は、西広島リハビリテーション病院の地域リハビリ・地域連携に関わる活動をご紹介します広報誌です

特集

## 退院患者統計一覧

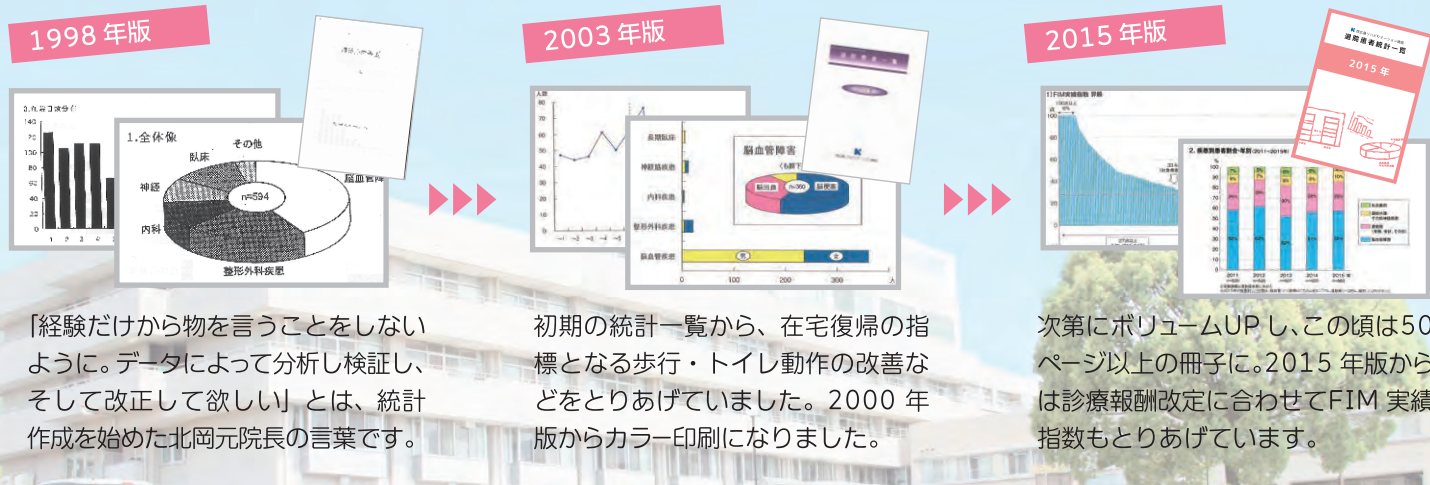
これまでの歩みと2018年版紹介

当院では、平成7年(1995年)から毎年「退院患者統計一覧」(前年の入院患者さんの診療実績をまとめた冊子)を作成し、連携機関の皆さまにお送りしています。

診療実績を一般に公開することは、毎年の結果を振り返りリハビリの質向上に活かすことはもちろん、連携機関の皆さまとの信頼関係向上にもつながると考えています。リハビリの専門ではない方が見ても分かりやすいよう、グラフの表現や色使いにも工夫しています。当院を評価するツールとして、是非ご覧いただければと思います。



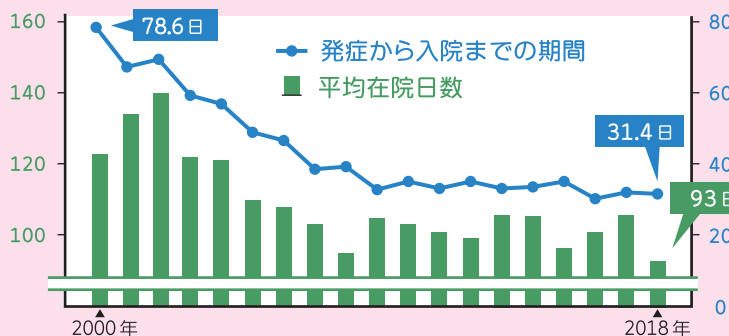
◀ 歴代の退院患者統計一覧と2018年版(予定)。ご希望に応じて無料で差し上げています。(最新版のみ、ホームページにて受付)



### 早く家庭へ、 うまく社会へ

入退院は年々スピードアップし、より短期間で高い成果を出すことが重要となってきています(右図)。今後もリハビリの質向上とともに、退院後のフォロー充実に取り組んで参ります。

2000～2018年データより  
脳血管障害患者の入院までの期間と在院日数 推移



2018年データより  
FIM実績指数

46.2点

- ※ FIM (日常生活動作の自立度) の改善度を示す指数。
- ※ 2018年1月～12月の患者のうち除外規定該当者を除く473名の中央値。
- ※ 回復期リハ病棟入院料1の基準は37点。

# 西リハスタッフの 資格・研修特集

## 明日を拓く～私たちは、チャレンジし続けます～

日々自己研鑽に努め、医療の進歩に貢献することは、医療職としての使命です。回復期リハビリ病棟では多職種によるチーム医療を行っていますので、各専門職がそれぞれに特化したスペシャリストとして成長することは、さらに高度かつ多角的な医療の提供につながります。今回はそうしたスキルアップの一環として、西リハスタッフの資格取得・研修履修の一部をご紹介します。

### 博士号 (保健学) 2019.2.28

おかげさまで、広島大学保健学研究科にて博士号(保健学)を取得することができました。脳卒中の患者さんへのロボットを利用した歩行リハビリについての論文が認められたものです。取得過程で得たものを活用して、私たちが提供しているリハビリをより改善し、患者さんの回復をより促せるようにしたいと願っています。



理学療法士  
(リハビリ部長)  
たなか なおじろう  
田中 直次郎

### 公認心理師 2019.2.5

心理職では日本初の国家資格として誕生した資格です。2018年の最初の試験にて取得しました。社会の変化によって心の問題も変化し、患者さん・ご家族のかかえる課題は複雑かつ多様化してきています。そのようなさまざまな課題に対応していくことはもちろん、患者さんやご家族を支える多職種や地域の方たちに対して支援しやすい場を整えていくことも大切な役割だと考えています。



公認心理師  
(臨床心理士)  
たふく ようこ  
田福 陽子

### 地域リハ塾 2019.3.17

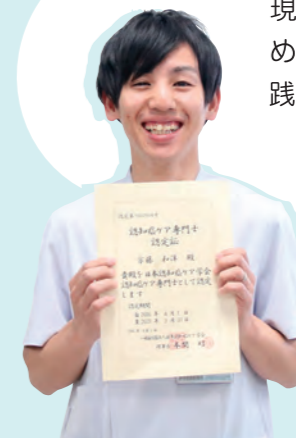
地域リハ塾は、地域リハが全国に普及することが期待されている中で、各地域において地域リハを推進するリーダーとなるリハビリテーション病院、施設及びスタッフを育成するために創設されました。今後は病院も地域の一員という考えのもと、地域に根付いたリハビリを行っていくための仲間作りなど、日々精進を続けていきたいと思っています。



作業療法士  
うえもり しよご  
上森 奨悟

### 認知症ケア専門士 2016.4.1

日本認知症ケア学会が認定する資格で、国家資格ではありませんが、確かな知識と経験、技術を持った認知症ケアのリーダーを養成するための資格です。現場での認知症ケアをもっと進めたい、また他のスタッフに実践の指導ができればと思い、取得しました。いずれは地域に出て、認知症サポーターの養成などにも携わりたいと思っています。



介護福祉士  
(主任)  
むねとう かずひろ  
宗藤 和洋

### 認定言語聴覚士 摂食嚥下障害領域 2019.1.6

日本言語聴覚士会による認定言語聴覚士制度には5つの認定領域があり、今回取得した資格は「摂食嚥下障害領域」です。嚥下障害の患者さんへ、より高度なスキルをもってリハビリを提供できると考えました。今後は後輩指導を行いながら、多職種へも研修会などで技術の伝達できればと考えています。



言語聴覚士  
(副主任)  
しげかわ ゆか  
重川 由香

### 認定言語聴覚士 成人発声発語障害領域 2019.2.3

成人の発声障害・構音障害などの評価・治療を専門とする領域です。当院は中枢性の運動障害による患者さんの治療が主体となりますが、既往や合併症による器質性・末梢性の障害がある方も、まれにいらっしゃいます。耳鼻咽喉科や口腔外科など、他の診療科で行われている治療を詳細に学ぶことができ、連携が重要な病態の判別が明確になりました。より適切なリハビリを提供できるよう励みたいと思います。



言語聴覚士  
おの のりこ  
小野 典子

### 認定歯科衛生士 在宅療養指導・口腔機能管理

口腔機能管理とは、「口の清掃だけでなく、飲み込みや咀嚼、発音、味覚など口腔機能全般を正しく維持・向上させ、管理すること」をいいます。口腔機能を健全に維持することで、誤嚥性肺炎など、全身疾患の予防につながることが知られています。入院中はもとより自宅に退院されたからもお口の健康が保てるように、これからも専門職の立場からお手伝いさせていただきたいと思っています。(歯科衛生士 折出 由起)

※ 2019年春に新田歯科衛生士が履修し、現在西リハ所属の歯科衛生士3名全員履修となりました。



歯科衛生士  
にした ともえ  
新田 智恵  
歯科衛生士  
おがわ なおこ  
尾川 直子  
歯科衛生士  
おりで ゆき  
折出 由起



資格や研修、学会やメディアでの研究発表など、西リハスタッフの実績一覧はホームページでご確認いただけます。  
西広島リハビリテーション病院 - 医療関係者の皆さまへ - メディア掲載・学会発表  
<http://www.welnet.jp/hospital/kankeisya/media2019.html>



## 地域リハビリ研修会



2018年度地域リハビリ研修会のご報告です！

当院は **地域リハビリテーション広域支援センター** です！

当院は、地域におけるリハビリテーション支援体制を推進するための施設として、広島県から指定を受けています。地域リハビリ活動の一環として、地域リハビリ研修会を年に5回程度開催している他、広島市介護予防事業への講師派遣、区民まつりへの参加、広報誌やホームページ、退院患者統計での情報発信などを行っています。

2018  
報告いつまでも  
自分の足で歩こう

2018年地域リハビリ研修会のテーマは、「いつまでも自分の足で歩こう」。運動習慣のない生活はやがて運動器疾患につながり、要介護状態へと進む可能性を含んでいます。歩くことで元気を保つをテーマに、全5回シリーズの研修会を行いました。当院の専門職のスタッフがそれぞれの視点で「健康長寿の第一歩として必要なこと」をお話ししました。今号では、第4回と第5回の様子をご報告します。

(第1回～第3回の様子は、WELNET通信2018-11号に掲載しております)

1 運動器疾患の知識

2 筋力・バランスの向上

3 筋・骨に良い食事

4 元気を保つ歩行介助

5 元気を保つ口腔ケア

今回は4～5回のご報告です。

高齢者いきいき活動ポイント  
対象講座です。地域リハ研修会  
No.113

4

## 元気を保つ歩行介助

2018.10.27 (土) 14:00～16:00



自分で歩くことには、寝たきりを防ぐなどの効果があります。病気や加齢により筋力・バランス能力などが低下しても歩ける状態を保つために、歩行補助具を使用したり、介助を適切に行うことがポイントになってきます。今回は、多種多様にある歩行補助具の選び方や使用方法、メンテナンスについてお話ししました。また、介助する際の立ち位置やふれ方、場面に応じた介助の方法をご紹介しました。参加者の皆さんは積極的に歩行補助具をさわってみるなど、熱心に受講されていました。

講師： 理学療法士 山岡 まこと  
作業療法士 久留嶋 崇史  
受講者数： 32名

## 参加者の声

- 歩行補助具を試させてもらえてよかった。カタログだけではわからないのでよい経験でした。(一般参加者)
- シルバーカーと歩行車の違いが分かり良かったです。(介護職)
- 歩行介助のはじめに、左右にゆれて足を出しやすくするなど、色々な場面の具体的な介助のポイントがわかりました。(ご家族)
- 介助者の立ち位置や手のふれ方など参考になりました。(ケアマネジャー)

地域リハ研修会  
No.114

5

## 元気を保つ口腔ケア

2018.11.17 (土) 14:00～16:00



噛める人ほど運動能力が高く、歯が19本以下で義歯未使用の場合は転倒リスクが2.5倍になるなど、歯と口腔機能は身体に大きな影響を及ぼします。シリーズ最終回前半は、そのような口腔機能維持の重要性についてお話しし、実際にブラシを使用して持ち方、当て方、磨き方とブラッシング方法を学んでいただきました。後半は、誤嚥性肺炎のお話をしました。口腔機能の維持と向上、誤嚥を防ぐためのトレーニングを皆さんと一緒に行いました。

講師： 言語聴覚士 重川 由香  
歯科衛生士 尾川 直子  
受講者数： 32名

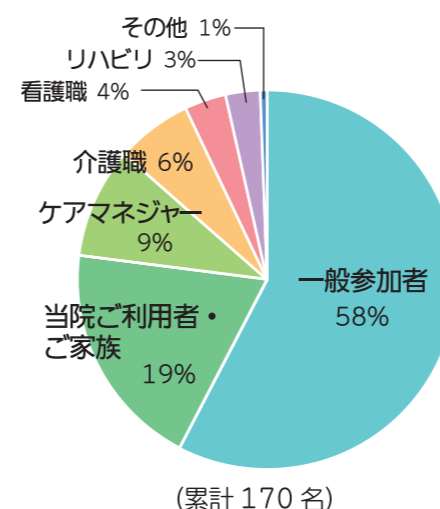
## 参加者の声

- 夜、義歯を外す事が粘膜を休めるといふ事、嚥下体操と嚥下リハの事が聞けてよかったです。(看護職)
- 歯の磨き方、とても参考になりました。自分では磨けてると思っていましたが、手鏡を使うことで、磨き残しもよくわかりましたので、家でもさっそく使ってみます。(一般参加者)
- 誤嚥性肺炎について詳しく知りたかったと思っていましたので、今回はよく理解できました。介護に役立てたいと思います。(ご家族)



## 2018年度 参加者内訳

2018年も多くの皆さんにご参加いただきました。参加者内訳は以下の通りです。



今後も地域の皆さんの生活に役立つ講座を開催して参ります。最新の情報は当院ホームページをご覧ください。

WEB [http://www.welnet.jp/hospital/local/reha\\_kensyu.html](http://www.welnet.jp/hospital/local/reha_kensyu.html)

次回の地域リハビリ研修会は…

2019  
予告介護要らずで  
元気に過ごそう

寝たきりにならずに元気に過ごすために、生活にどんなことを取り入れたら良いでしょうか？脳卒中や骨折の知識、健康管理、生活習慣、運動習慣、食事のことなど、リハビリ病棟の専門家がそれぞれの視点でお話しします。できることから始めて、生き生き健康長寿を目指しましょう！

7月 脳卒中の予防と基礎知識  
(医師)8月 バランスの良い食事  
簡単・便利に！  
(管理栄養士)9月 毎日の健康管理と  
口腔ケア  
(看護士・歯科衛生士)10月 しっかり食べられる  
口のどの鍛え方  
(医師・言語聴覚士)11月 転倒しにくい体づくり  
(理学療法士・作業療法士)高齢者いきいき  
活動ポイント  
対象講座です

※ 日程・内容は変更となる場合がありますのでご了承ください。



## 第33回 佐伯区民祭り

2018.11.11 佐伯区民文化センター

区民祭りは、区民の交流と地域活動の促進を目的として、各区と広島市が共同で開催するイベントです。ステージでの発表や、バザー、展示会、体験コーナーなどが催されます。当院も、体力測定や健康相談を実施するブースを毎年出展しています(今回で12回目)。

当日は晴天に恵まれ、当ブースには延べ177人の方が足を運んでくださいました。今回は体組成測定に加え、新たにロコモスキャン(膝を伸ばすための足の筋力を測定するもの)を導入し、皆さんに体験していただきました。管理栄養士と健康運動指導士が作成した栄養と運動のプリント等も提供しました。地域の皆さんとふれあい、活性化に貢献できる貴重な機会として、これからも参加を続けたいと思います。



(上) 各種体力測定や健康相談のブースを出展しました。60～70代の方を中心に、たくさんの方にご参加いただきました。(左下) 毎年来てくださる方も多く、皆さんの健康意識の高さを感じます。(右下) 鮭缶コロッケとソイプロテインケーキのレシピ、腰痛や肩こりを予防する運動の紹介を提供しました。

平成30年度 第2回  
広島県回復期リハの会 研修会

2018.12.11 広島県医師会館ホール



回復期病棟における栄養管理をテーマに3人の先生にご講演いただき、196名の参加がありました。  
岡本隆嗣先生(西広島リハビリテーション病院・病院長)より、平成30年度診療報酬改定について、栄養項目の導入を含めてポイントをお話いただき、続いて助金淳先生(日比野病院リハ科主任作業療法士・栄養サポートチーム専門療法士)より病棟のチームで行う栄養管理と栄養療法の実践について、栢下淳子先生(広島修道大学健康科学部教授)より在宅を見据えた栄養管理とその問題点・対策について、それぞれ実際の活動の紹介とともにお話いただきました。

平成30年度 第3回  
広島脳卒中地域連携の会

2019.2.27 広島赤十字原爆病院



広島脳卒中地域連携の会は、脳卒中に関する医療・介護関係機関の地域連携を強めるための会であり、当院は事務局として中心的な役割を担っています。今回は医療福祉機関の多職種87名が参加し、ミニレクチャーとグループワークを行いました。  
はじめに「脳卒中と地域包括ケアについて(広島市の取り組み)」と題して片桐清志先生(広島市健康福祉局 高齢福祉部 地域包括ケア推進課)よりご講演いただきました。その後、「脳卒中と地域包括ケアについて」をテーマにグループごとに議論を行い、意見を交換しました。

職員のメディア掲載・学会発表情報です。(2018年11月～2019年4月)

※ 医師やスタッフの肩書き/氏名は掲載時点のものであり、現在は変更している可能性があります。

※ DR:医師 PT:理学療法士 OT:作業療法士 ST:言語聴覚士 RM:リハビリマネージャー NS:看護師 CW:介護福祉士 CP:公認心理師 RD:管理栄養士

## 認定・資格

※ 認定・資格取得について、詳しくは本誌pp.2-3もご参照ください。

認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域):重川由香(ST・副主任)/  
公認心理師:田福陽子(CP)/認定言語聴覚士(成人発声発語領域):小野典子(ST)/  
博士号(保健学):田中直次郎(PT・リハビリ部長)/地域リハ塾:上森 奨悟(OT)

## 新聞・雑誌掲載

2018.11.5 迷ったときのかかりつけ医と病院 広島⑥  
特別版・脳の病気編(南々社)pp.72-85  
特別企画 リハビリ専門医を中心としたチーム医療で365日  
回復期リハビリに取り組む西広島リハビリテーション病院  
岡本隆嗣(DR・病院長)

## 外部講演・学会発表

2018.11.2-3 第2回 日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会  
シンポジウム&ディベート1  
「これからの回復期リハビリテーション医学・医療:質と量の観点から」  
回復期リハビリテーション病棟の現状  
～実態調査からみえる変化と課題～ 岡本隆嗣(DR・病院長)

シンポジウム&ディベート6「経頭蓋磁気刺激の臨床応用」  
回復期リハビリテーションにおける活用  
～rTMS併用の効果およびfNIRSによる検証～  
岡本隆嗣(DR・病院長)

2018.11.16 公益社団法人広島県理学療法士会 日支支部研修会  
セラピストのためのわかりやすい資料の作り方  
藤高祐太(PT・副主任)

2018.11.25 第11回病棟長研修会  
ICFの導入・運用・管理 杉本真理子(NS・副院長・看護介護部長)

2019.1.19 平成30年度職種別中央研修会プログラム 協会指定管理者研修会  
これからの回復期リハビリテーション病棟マネジメント  
入院におけるリハビリテーション提供体制  
田中直次郎(PT・リハビリ部長)

2019.2.9 日本神経理学療法学会サテライトカンファレンス in 広島  
治療用装置、ロボティクスにおける歩行再学習  
藤高祐太(PT・副主任)

2019.2.21-22 第33回研究大会 in 舞浜・千葉  
頻回の義足カンファレンスによるチームアプローチを実施し、歩行と引籠りが改善したガス壊疽両下肢切断の一症例  
釜屋真二(PT・副主任)/井上英二(OT・主任)/田福陽子(CP)/  
竹内貴文(PT)/田中直次郎(PT・リハビリ部長)/  
岡本隆嗣(DR・病院長)

内服自己管理訓練を実施した患者の退院後の内服管理について  
永見茜(NS・師長)

入院時訪問指導の有用性について  
福江亮(PT・RM)/田中直次郎(PT・リハビリ部長)/中臺久恵(PT)/  
丸田佳克(PT・RM)/漆谷直樹(OT・RM)/松下信郎(PT・主任)/  
井上英二(OT・主任)/岡本隆嗣(DR・病院長)

健常者に対するステップバランストレーナーを使用したのバランス  
反応の評価  
松四健太(PT)/藤井琢磨(PT・副主任)/  
丸田佳克(PT・RM)/松下信郎(PT・主任)/  
田中直次郎(PT・リハビリ部長)/岡本隆嗣(DR・病院長)

入院中の外泊訓練の効果について  
山中勝正(OT)/小林稜子(PT)/小滝雅博(CW・副主任)/  
松下信郎(PT・主任)/漆谷直樹(OT・RM)/  
田中直次郎(PT・リハビリ部長)/岡本隆嗣(DR・病院長)

2019.3.7 県立広島大学FD事業  
地域を主体とした他職種連携・協働による地域包括ケアの推進  
「その人らしい暮らしを支える他職種連携—それぞれの立場から  
見えるもの—」 藤高祐太(PT・副主任)

## 専門雑誌・書籍

2018.9.28 International Journal of Physical Medicine & Rehabilitation  
Volume 6 Issue 5 (Open Access Journal)  
Effect of Combination Therapy of Low-Frequency Repetitive  
Transcranial Magnetic Stimulation and Intensive Occupational  
Therapy on Poststroke Patients with Upper Limb Paralysis  
漆谷直樹(OT・主任)

2018.11.10 リハビリナース 第11巻6号pp.64-68  
ADL向上を目指すセラピストと看護の協働—「セラマネ」はリハチ  
ームでどんな役割を果たす? 福江亮(PT・RM)

2018.11.12 Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science(2018)  
認知症併発回復期リハビリテーションのFIM利得に及ぼす影響  
—認知症併発者へのリハ提供時の工夫— 岡光孝(OT・地域連携部副部長)

2018.12.1 BRAIN NURSING (メディカ出版) vol.34 No.12 pp.38-43  
特集7 急性期病棟での「回復過程、段階別」の患者・家族対応  
①本人や家族が徐々に症状に気付くとき 沖田啓子(ST・リハビリ部顧問)

2018.12.1 病院(医学書院)第77巻12号pp.66-70  
特集 検証 平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定  
[病院種別影響] 回復期リハビリテーション病棟協会  
岡本隆嗣(DR・病院長)

2018.12.15 地域リハビリテーション(三輪書店)第13巻12号pp.884-885  
巻頭言 平成30年7月豪雨災害 岡光孝(OT・地域連携部副部長)

2019.1.10 リハビリナース 第12巻1号  
pp.6-9 カンファレンスの質評価と改善 井上英二(OT・主任)  
pp.54-57 回復期病棟におけるカンファレンスとは  
岡本隆嗣(DR・病院長)

2019.2.1 Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases  
vol.28 No.2 pp.477-486  
Effect of Stride Management Assist Gait Training for  
Poststroke Hemiplegia: A Single-Center, Open-Label,  
Randomized Controlled Trial  
田中直次郎(PT・リハビリ部長)/松下信郎(PT・主任)/  
園田泰(PT)/丸田佳克(PT・RM)/藤高祐太(PT・副主任)/  
佐藤正志(PT・副主任)/下森未来(PT)/尾中竜樹(PT)/  
原田啓司(PT)/岡本隆嗣(DR・病院長)

2019.2.15 Journal of CLINICAL REHABILITATION (三輪書店)  
第28巻2号pp.155-159  
「地域づくり」を学ぼう!  
1. 広島県広島市における地域リハビリテーション広域支援センター  
としての地域づくりへの取り組み 岡光孝(OT・地域連携部副部長)/岡本隆嗣(DR・病院長)

2019.2.15 BRAIN NURSING (メディカ出版) 春季増刊 pp.146-160  
図解からだのしくみとはたらき 7 食べる  
長谷川雄紀(DR)/岡本隆嗣(DR・病院長)

2019.2.28 病院の実力 2019 総合編 p.48  
開業32年を迎える先駆的なリハビリ専門病院  
岡本隆嗣(DR・病院長)

2019.3.10 リハビリナース 第12巻1号pp.54-57  
在宅復帰後の複数の内服薬自己管理に向けたかかわり 岡崎崇(NS)



チーム紹介!

## 医療相談員

医療相談員は7名体制となりました。代表で、本館2階病棟担当の3名にお話を伺いました。

太田さんが加わり、7名体制になりました!

太田 今年の2月にこちらに配属されました。今は面談時のご説明や、記録を行っています。福山出身なので、広島島の地理や、患者さんが退院されてから利用する施設や事業所の特徴など、まだ知識が足りないと感じています。入退院される患者さんのことをよく見ながら勉強中です。

仕事の心がけは「思いやり」

樽井 何か質問や相談を受けたときには、出来る限り早く対応する、ということですね。また、介護保険の手続きなど、患者さんやご家族にとっては初めてのことも多いですから、その

主任 樽井 副主任 山下 森澤 豊永



人に合わせた言葉や選択肢を選んで、分かりやすく説明することを心がけています。

森澤 相談員は、チームの中で患者さん・ご家族と一番初めに接する直接の担当になります。その最初の面談で患者さん・ご家族の状況やキャラクターをいちはやく見極め、どのような対応が必要かをチームに発信していくことが大切だと思います。そうしたリハケアの入口となる役割を、しっかりとやりたいと思っています。

### 医療法人社団 朋和会 基本理念

## 信じ合い、明日を拓く

私たちは「信じ合い、明日を拓く」という言葉を基本理念としております。

「信じ合う」という言葉は、患者さんと職員との信頼関係とともに、職員間の信頼関係をも含んでおります。理想的なリハビリテーションは、ひとりの患者さんを中心に全スタッフが取り組むチーム医療が原点です。たしかに信頼関係のもと、全職員が心をひとつにして治療に取り組めばそこには安心感が生まれ、患者さんに、より大きなご満足いただけるものと信じております。

「明日を拓く」という言葉は、現状に満足することなく未来へ向けて挑戦したいという私たちの願いです。超スピードで進化する医学の流れをしっかりと見定め、フロンティア・スピリッツを胸に、どんな困難にも立ち向かっていきたいという気持ちをこの言葉で表現しました。

「信じ合い、明日を拓く」この言葉をいつも大切に考え、患者さんやご家族の皆さん、受診者の皆さんにご奉仕し、地域社会の発展に寄与していきたいと心より願っております。

医療法人社団 朋和会  
初代理事長 岡本則昭

### 医療法人社団 朋和会 西広島リハビリテーション病院

〒731-5143 広島市佐伯区三宅6丁目265番地  
TEL (082) 921-3230 (代表)  
FAX (082) 921-3237 E-mail wel@welnet.jp  
URL <http://www.welnet.jp/>

★ 理事長・病院長：岡本 隆嗣



★ 広島中心部より車で約30分 ★ 広電楽々園駅より車で約10分 ★ JR五日市駅南口よりバスで15分

